

# ～特別委員会報告～

## 新体育館建設 特別委員会

新体育館建設特別委員会では、2月19日及び、3月12日、21日に委員会を開いて、新体育館基本設計書と長山公園屋内運動施設ゾーン整備基本計画書及び、用地の取得等について議論しました。

### 新体育館基本設計書

この設計書は、体育館本体の設計書です。建築面積や構造・設備について定めています。

新体育館の特長は、外観を楕円形としていることです。これは、卵形のイメージに将来のスポーツ選手がここから羽ばたく事をイメージしています。また、2階部分にもうけられる周回走路が楕円形となり、走りやすくなっています。

そして、外装をアルミパンチングメタルで囲うことにより、省エネルギーと耐候性確保を図りました。

アリーナの照明はLED方式を採用し、空冷ヒートポンプ型の空調設備を導入する事により環境にも配慮しています。

アリーナ部分は、バドミントンコートでは通常12面がとれる大きさであり、2階部分にはトレーニングルームが設置されま

す。観客席は1000席を確保しています。

委員会では、コストの低減、使いやすさ、必要性の観点から多くの議論が交わされました。またユニバーサルデザインにも十分な配慮を行っています。

### 長山公園屋内運動施設 ゾーン整備基本設計書

これは体育館の敷地整備に関する設計書です。

委員会では、車と歩行者の動線、豪雨時の雨水対策について、様々な議論をかわし、約3000台の駐車場、体育館本体の配置や、敷地造成による雨水対策、イベント時の動線設計等を行っています。

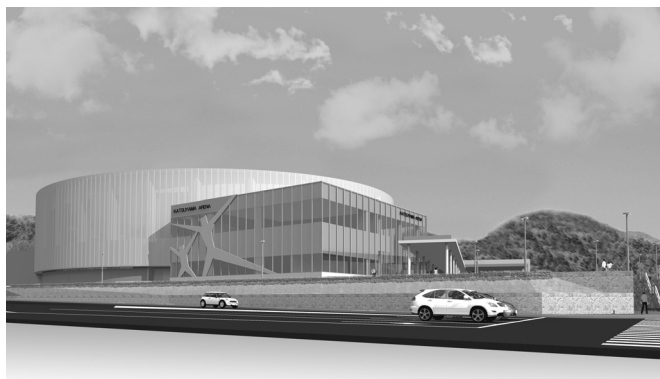
### 用地の取得について

体育館用地の取得については、勝山市土地開発公社により、先行取得を行ってまいりました。

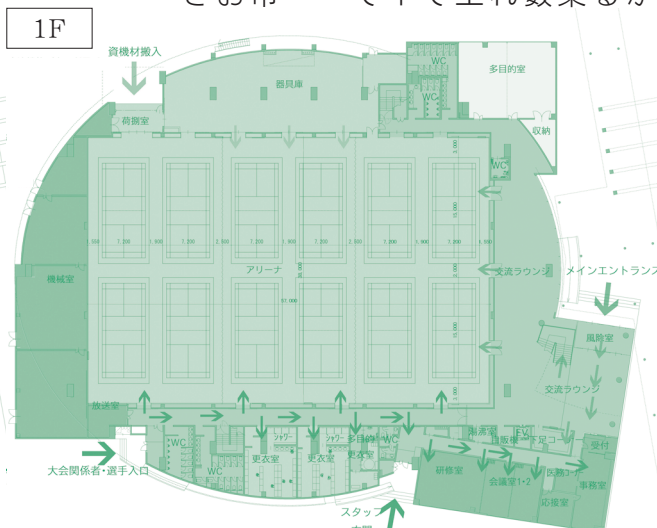
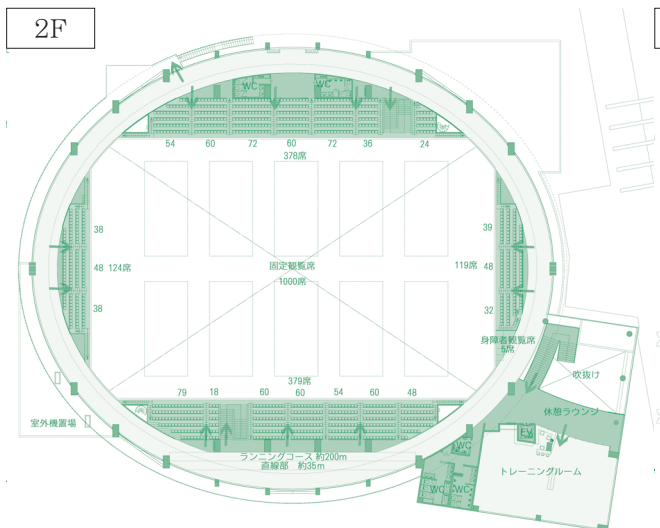
このたび国の補正予算において、約6億円が体育館関係予算として認められたため、計画を前倒しして敷地造成工事に着手することになりました。そのため、勝

山市が土地開発公社から当該用地を取得する必要があり、関連議案を審査の上、賛成多数で可決しました。これにより、体育館本体工事平成26・27年度で行い、平成28年度オープンを目指すとの事です。

※新体育館の模型を市役所庁舎で展示しておりますのでご覧ください。



外観西面



体育館アリーナ内部図